



▲ドキドキ操法初舞台!! (軽可搬ポンプ操法)

かごしま
あいら
市議会だより

No.26 12月定例会

平成29年1月31日発行

報告	報告	勉強会	補正
委員会レポート	議会と語る会	地方議会の 役割と課題	2000万 減額修正
20	18	17	2



▲白熱した議論が交わされました

補正予算額

6億3429万円

予算総額 307億8797万円

●12月議会（第4回定例会）
会期／11月25日～12月19日
25日間

●12月議会の議案

議案	32件
陳情・請願	3件
発議	2件

全ての議案と採決結果は、
始良市ホームページを
ご覧ください。

その他

- 陳情・請願、3件を採択しました。
(詳細は、6・7ページ)
- 「議会と語る会」を開催しました。
(詳細は、18・19ページ)
- 先進地を調査研究しました。
(詳細は、20～22ページ)

条例

- 下水処理事業が変わります。
- 新しい火葬場が平成29年4月にオープン
予定です。
(詳細は、4・5ページ)

補正

- 運動公園体育館屋根庇補修費を減額修正
しました。
- 地域活性化を後押しします。
- イオンタウンに行政窓口が設置されます。
(詳細は、3ページ)

減額修正に至った経過

- 本会議（11月25日）
執行部により、補正予算案、総合運動公園体育館南側屋根底補修費2000万円が計上される。
- 本会議（12月5日）
質疑において、南側の屋根底補修費の積算根拠等を確認。
- 予算審査特別委員会・産業建設班会（12月6日）
担当部局の説明後、点検・維持管理・予算根拠等を質疑。南側底部分の補修のみ、2000万円が必要と確認。
- 予算審査特別委員会・産業建設班会（12月7日）
現地調査を実施。
西側部分の腐食を発見し、これまでの点検、維持管理等について指摘。
- 予算審査特別委員会・産業建設班会（12月9日）
担当部局から、当初の南側屋根底補修費2000万円に、西側部分の補修費まで組み込む案が示される。
※予算の組み方に不信感や疑問が出てきた。
委員より、2000万円を減額した、修正案が提出された
【採決結果：賛成5 反対1】
- 予算審査特別委員会全体会（12月15日）
産業建設班より審査結果等の報告を行い、減額修正案が示された。
全委員で現地調査を行い、質疑、議員間討議、討論、採決を行った。
【採決結果：賛成14 反対8】
- 最終本会議（12月19日）
2000万円を減額した、補正予算案を可決。
【採決結果：賛成12 反対11】

補正

暮らしやすいまちづくり予算

減額修正案可決 賛成12名 反対11名

体育館補修費認めず

総合運動公園体育館の南側屋根庇先端部分が一部腐食していることから、それを補修するための工事請負費、2000万円が補正予算で提案されました。

予算審査特別委員会で現地調査を含め、詳細に審査を行いました。その結果、体育館屋根底補修費を除いた補正予算案を可決しました。

論点

- ①安全性を考えると早期の補修工事は、全委員共通認識である。
- ②現時点における安全対策の実施と長寿命化・安全性に関する総点検が必要である。
- ③審査の過程で、西側部分の腐食を指摘した後、当局は当初の工事費2000万円に、西側部分の補修費まで組み込む案を示した。

補正予算2000万円の積算根拠が明確に示されなかった。
予算案提出の際の見積額の精査に信憑性や疑問がある。

質疑 腐食は予測できなかったか。

答弁 補修は腐食部分をカットして同時に防錆処理を行い、小口を板金でキャップします。今後は腐食することはないと考えます。

質疑 この部分だけか。抜本的な改修を見据えるべきではないか。

答弁 南側だけの腐食と考えています。軒の奥のほうについて腐食はなく、構造がこれによって弱くなったということにはならないと考えています。

指摘事項

- ①安全確保のために、立ち入り禁止区域の設定などを速やかに実施すること。
- ②外壁や屋根だけでなく内壁など全てにおいて総合的な点検を実施すること。
- ③点検後、危険度の高い部分から早急な補修工事を速やかに実施すること。

地域活性化事業へ 650万円

漆校区コミュニティ協議会が実施する「万来館」を拠点とした、移動手段の確保、健康づくり・高齢者サロン・見守り食堂への参加促進、独居高齢者の支援事業、伝統文化の継承等に対し、持続可能な地域の活性化を図るための補助金です。

イオンタウン窓口開設へ 2442万円

平成29年春よりイオンタウン東街区1階に、市民窓口を開設するための事務室の内装・設備工事費です。

この窓口ではパスポートの申請・審査・交付事務及び住民票等の証明発行業務を行います。



▲身近になる行政窓口(イオンタウン東街区)
(注)イメージ図です。完成時の外観と異なる場合があります。

条例

朝日ヶ丘自治会 下水処理施設市へ移管



▲移管される処理施設

朝日ヶ丘自治会は、平成24年2月、市へ地域下水処理施設の移管申請を提出していました。その後、朝日ヶ丘自治会と市で、新しい料金体系などについて協議を重ね、平成28年4月から新料金での運用が始まっています。

本市の地域下水処理区域の条例に、朝日ヶ丘自治会を追加し、平成29年4月から移管されます。

可決
賛成23名
反対0名



議長 湯之原 一郎

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

新しい年が、市民の皆様にとりまして、より良き1年となりますよう、心からご祈念申し上げます。

平成22年3月に新生「始良市」として歩み始めてから、間もなく7年が経過します。この間、市民の皆さまも様々な変化を感じて来られたと思います。年を追うごとに、一步一步着実な歩みを進めて来ていることを、私自身も感じております。

この4月には、新しい畜場「悠久の杜」が動き始めます。

また、イオンタウン東街区の完成で、市民はもとより多くの方々に、新しい楽しみが増えることと期待しています。

議会におきましても、平成26年に制定しました「議会基本条例」に基づき、様々な改革に取り組み、その成果が徐々に現れつつあると考えています。

本市議会には総務・文教厚生・産業建設の3常任委員会があります。各委員会では、担当の所管部の予算等の審査や調査を実施する際、提案された議案の「論点」を抽出し、審査の段階でそれを明らかにし、議員間討議を経て、議案の賛否を決めるという手順が定着してきました。「市民のためにどうあるべきか」との視点での審査が深まりをみせてきたところです。

本年は市民の皆さまにもっと解りやすい議会を目指して、鹿児島大学の平井一臣先生にご協力をいただき、これまでの議会改革を検証し、議会の役割をより着実なものにするための努力を続けてまいります。

本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。新年のご挨拶といたします。

〈使用料内訳〉

区 分			1 体につき	
			市内居住者	市外居住者
火葬場使用料	死亡者	13歳以上	10,000円	50,000円
		13歳未満	5,000円	25,000円
	死産児		2,000円	10,000円
	会葬遺骨		2,000円	10,000円
	身体の一部		2,000円	10,000円
	産汚物		2,000円	10,000円
待合室使用料	1室1回3時間以内		2,000円	10,000円
			3時間超過の場合、1時間につき700円加算	3時間超過の場合、1時間につき3,500円加算
霊安室使用料	1室24時間以内		10,000円	50,000円
			24時間超過の場合、1時間につき500円加算	24時間超過の場合、1時間につき2,500円加算

新火葬場「あいら斎場
ゆうきゅう もり
悠久の杜」使用料決まる



▲完成までもう少し

老朽化している火葬場は、現在、隣接地に新火葬場を建設中です。平成29年3月完成予定を前に、新火葬場の名称は公募により「あいら斎場悠久の杜」に決定しました。使用料については、市内居住者は、火葬料1万円と待合室使用料2千円です。この料金は、火葬に直接的に要する経費の燃料費4千円と光熱費8千円などを考慮し算出されました。市外居住者は、この火



葬に直接的に要する経費1万2千円に、火葬場の人件費等の運営経費2万8千円、施設整備費2万円を加えた額で設定しています。これまでは、市内・市外の扱いは、死亡者の住所で決まっていたことが、新火葬場では、届出人の住所も含まれることになりました。



▲山田地区の排水処理施設

農業集落排水事業は、現在、山田二期地区管路工事を施行中です。深水域は、今年度中に完成が見込まれるので、農業排水事業の処理区域となります。処理区域を今までよりわかりやすく表示することに加え、深水の一部を追加します。



農業集落排水事業
区域表示を変更

台湾との経済交流に関し 二重課税等の回避

日本と台湾間の経済交流（物流、投資、サービス）において生じる所得に対する二重課税の回避及び脱税防止のために、法律が整備されたことで、個人市民税の課税について市税条例及び国民健康保険税条例を改正します。

可決
賛成23名
反対0名

市職員の介護時間を拡充

育児休業法の改正に伴い、市職員の介護時間、介護休暇等が改正されました。

職員の配偶者、父、母子等が負傷、疾病で介護が必要な時、これまで介護休暇は6月間に1回でしたが、分割して3回まで取得できるようになりました。また、連続する3年以内であれば、1日につき2時間以内の範囲で、介護時間も認められます。

可決
賛成23名
反対0名

その他の条例

平成28年度人事院勧告に伴う市職員の給与、市議会議員の期末手当等、市長等の給与、教育長の給与に関する条例の改正がありました。

請願1件

採択



▲道路に流入した土砂



▲車両にも被害

「鉄道の安全・安定輸送」及び「地域を支える鉄道の発展」を求める請願書

請願者 江口 洋一
紹介議員 上村 親

請願の趣旨

JR九州は、発足当初より、経営の安定の為に運用益や税制特例等の支援策と、経営努力で何とか経営を維持してきました。

しかし、税制特例も2018年度末で廃止となり、ローカル線を多く抱えるJR九州の鉄道事業は、極めて厳しい経営体質となります。

今後、地域の産業や住民生活を支える鉄道の安

全・安定的な運営と、地域交通や鉄道貨物ネットワーク維持発展の為に、

自然災害発生時の鉄道施設への支援、鉄道在来線の大規模改修への支援、鉄道用車両に対する固定資産税を非課税とするなどを国に強く要望して下さい。

採決結果

全会一致で採択し、国へ意見書を提出しました。

陳情2件

採択



▲崖がせまる市道

陳情の趣旨
市道内山田〜黒瀬線は、合併以前から陳情が出されています。これまで用水路整備事業などで道路を掘削したことにより、

多くの箇所で路面が傷んでいます。また、狭隘な部分や、路肩が軟弱な箇所もあり、生活道路でもあるので全面的な改良が必要です。この道路は災

上名地域市道改良に関する陳情書

陳情者 玉利 道満
ほか4名



▲心配な路肩

害時には、迂回路としても利用されています。

板ノ口〜飛野線は、路面に凸凹があり車両の通行時に危険です。路面の補修を要望します。

この2市道の改良・補修は、地域の自助努力で補うことはできません。早急な事業の実施をお願いいたします。

採決結果
全会一致で採択しました。

川内原発1、2号機の再稼働にあたっては原発から30キロ圏内の始良市に地元同意を求める意見書の採択を求める陳情書

陳情者 松尾 晴代

県と薩摩川内市のみを地元として、昨年、再稼働しました。
福島県では今でも30キロ圏内に帰還困難区域と指定された区域があります。
30キロ圏内の始良市を川内原発の再稼働にあたり同意を得るべき「地元」に改めて含め、地元同意を鹿児島県知事に求める意見書採択を求めます。

陳情の趣旨

川内原発は一号機が定期検査中の停止状態で、二号機も定期検査入りします。

本来、再稼働条件の一つに地元の同意が挙げられていましたが、鹿児島

賛成討論 田口 幸一
渡邊 理慧

採決結果

賛成17反対6の賛成多数で採択し、意見書を提出しました。



▲陳情者の参考資料より

設置基準と維持管理

市長／指導要綱で規定
点検補修は専門業者に委託

小規模公園



和田 里志

和田 少子高齢化や環境の変化に伴い、活用されていない公園も目に付く。小規模公園の用途廃止や設置基準、遊具の点検はどうなっているか。
市長 3000㎡以上の開発行為の場合は、区域面積の最低3%以上の公園を設置するよう指導要



▲将来を見据え、新しく整備された公園

綱で規定している。遊具の点検・補修については、年1回の専門業者による定期点検、職員や愛護作業による随時点検を行っている。

水道事業の一部を委託
市長／研修を実施

和田 水道事業のより一層の経営の効率化と財政基盤の強化のために、一部外部委託を検討すべきと思う。

市長 民間委託の可能性を含め、研修を実施している。

を問う

一般質問

国道10号

新たな道路整備

市長／総合的に研究する



湯川 逸郎

湯川 国道10号の加治木、単人間の渋滞解消のため、新たな道路整備計画について問う。
市長 都市計画マスタープランの交通体系整備方針で、新たな道路整備計画の広域基幹道路として

位置付けている。この区間の道路整備は、傾斜が急で険しい地形であり、総合的に研究する必要があると考える。

ごみの分別・収集処理
市長／委託基準等で契約

湯川 施政方針で「ごみの分別区分や収集体制を研究し、最適な施策の実施に努める」と示された

が、事業経費、入札関連、高齢者等の対策を伺う。
市長 資源物を含め廃棄物の処理は委託処理し、委託基準は施設、人員及び財政的基礎を有し、相当な経験を有する適切な者に委託処理している。事業経費及び処理業者の選定は基準等をもとに決定し、契約している。
地域内の高齢者等でゴミ出し搬出困難者は「共助」を考えている。

その他の質問

○障がい者の生活支援



▲終日渋滞する国道10号

自治会加入

準会員として対応

市長／事例を示していく



森 弘道

森 準会員として対応することも選択肢の一つである。
また、防犯灯やごみ集積所等の維持管理費とし

て、応分の負担を求めることの見解を問う。
市長 準会員については、20自治会の取組がある。負担については、地域の共益費としての考えで18自治会の取組がある。
このような取組が広く知られていない状況にあるので、あらゆる機会を通じて事例を示していきたい。

「くすみん」の活用 市長／研究実践していく



始良市イメージキャラクター「くすみん」

▲「くすみん」のあらゆる活動を期待

森 市のイメージキャラクター「くまモン」や「ふなっしー」のように広報活動の活性化にいかせないか。
市長 「くすみん」は、「日本一の巨樹蒲生の大楠」の妖精で、大楠の「くす」と、みんなの「みん」を合わせた名前となっており、言葉を発することは出来ないが、メッセージとして伝えることはできるのではないかと研究し、実践していきたい。

その他の質問

- 校区コミュニティ事業
- 職員の市民サービス

市政

18人が

資源物収集

高齢者・障がい者への対応

市長／協議、研究していく



田口 幸一

田口 ごみをステーションまで運ぶのに苦慮している高齢者・障がい者への対応を、どのように考えるか。

市長 本市の資源物収集については、自治会活動の一環として捉えている。市としては、ごみ出し

に対する支援を、自治会活動交付金の対象事業としており、「共助」によるコミュニケーションづくりにも役立っていると考えている。
ごみ搬出への支援二一



▲高齢者・障がい者にやさしい資源物収集

ズは、高まることが予想されるので、支援のあり方について市の社会福祉協議会やシルバー人材センターとも協議、研究していく。

その他の質問

- 国民健康保険税の課税のあり方
- マラソンコースの設置
- 高齢者・障がい者等の交通弱者対策

奨学金

滞納総額とその背景

教育長／返還金の捻出が困難



本村 良治

本村 奨学金の滞納総額とその背景をどのように捉えているか。

教育長 9月末で115

9万7250円で、滞納の背景は奨学生本人が、非正規職員や派遣職員などで低所得であることや、親の経済困難等により、返還金の捻出が厳しい生活実態にあることなどが、滞納になる背景と考えられる。

新総合事業

市長／管理者中心から入居者中心へ

本村 ユニット制導入の目的を機能面と財政面から具体的に説明せよ。

市長 従来は管理者中心のケアのしやすさに主眼がおかれた施設から、ユ



▲奨学金を貸与されて勉強に励んでいる学生

ニット型の施設では入居者のプライバシーが確保され、個々のニーズに对应えられる介護ケアが実現する。
県のユニット化改修事業で補助金などの支援も受けられる。

その他の質問

○特別支援教育

搬送の実態

救急車

市長／件数・時間とも増加



森川 和美

森川 全国的に、救急車の年間出動件数が、過去最高を更新し続け、平成26年は約598万件に上る。

患者の搬送時間も伸びているが、本市の搬送の実態は、

市長 不搬送の実態については、平成27年中にお



▲一刻も早く

ける救急出動総件数3358件のうち、不搬送件数は182件となっており、総件数の5%の割合になっている。
件数・時間ともに増加している。

中学生の制服・学校集金

教育長／学校間の差ない

森川 中学生の制服及び入学時において、多額の費用が大変だと聞くが、制服代及び学校集金額はいくらぐらいかかるか。各学校の差はないか。

教育長 中学生の制服代については、男子が約3万1000円、女子が約4万2000円である。学校生活で月々支出するものは、給食費が4700円、PTA会費約2500円、副教材費等が約2000円、そのほか修学旅行費が約4万3000円などで、一年間の集金額は約10万5000円である。
各学校間の差はほとんどない。

農業の活性化

6次産業化への育成

市長／新たな事業を支援



堂森 忠夫

堂森 6次産業化への育成を図り、地産地販の対策として、農産物関連事業への補助金の幅を広げて農業の活性化を図れ。さらに、市の特産品であるキャロット製品を持続継承するための対策を図れ。



▲キャロット製品の持続継承を図れ！

市長 農業生産物の生産・加工・販売の一体化を推進し、効率的な生産と経営を啓発する。

新たな加工品の開発や地産地消、販路拡大に取り組む事業を支援する。補助金の適用範囲は、今後検討していきたい。キャロット会社の自助努力を基本とし、今後の経営方針や目標など明確にされた上で、必要な支援策を講じる。人参加で市職員の農業体験研修も可能である。

特別手当を支給

教育長／ジャンボタクシーなど配備。

堂森 特認校へ他学校区からの通学や移住世帯に特別手当を支給し、特認校の児童増を図れ。

教育長 地元の児童減が課題だが、他校からの希望も多いので通学バスやジャンボタクシーを配備している。

その他の質問

○学校給食

○伝統芸能文化継承

市営住宅

建替え計画と適正規模

市長／バランスを再考



吉村 賢一

吉村 契約条例の遵守や管理を徹底しているか。

市長 入居条件を詳しく説明し契約書を交わしている。

猫の餌やり等禁止事項について通報等で判明した場合、現地調査を行い、指導している。

吉村 古い住宅の建替え計画と適正な規模を問う。

市長 本年3月末日現在で217棟1426戸あるが、加治木地区に多い古い住宅は管理戸数を減らし、建替えについては、民間集合住宅も増加しているの、地区ごとの需要と供給のバランスを再考する必要がある。



▲昭和32年建築の新富住宅が新しく生まれ変わります

青少年就業サポート

教育長／センター設置は調査・研究する

吉村 島根県浜田市では40歳までの若者健全育成支援を「青少年サポートセンター」で行っている。

本市でも登校拒否、引きこもりを在学中及び卒業後もフォローできないか。

教育長 スクールソーシャルワーカーやカウンセラーも関わり、社会福祉課・子ども政策課が連携している。

いわゆる「ニート」と呼ばれる若者に対して特別な支援体制は講じてない。県は「かごしま子ども・若者支援センター」を設置している。本市の設置については今後、調査・研究していく。

始良市の市民枠を相談

鹿
見
島
マ
ラ
ソ
ン

市長／要望することは慎重に対応



萩原 哲郎

萩原 鹿見島マラソン大会には始良市として、どのような協力を行っているか。
市長 沿道からの応援は約4000人、25キロメートルを過ぎ疲れの見える始めるランナーの背中を押す、温かい声援を送っている。



▲応援を受け力走する選手たち

ステイックバルーンの配布や会場からの応援で、重富中学校の吹奏楽部・まむし太鼓の演奏により大会に華を添えている。
萩原 年々参加者が増え抽選倍率が上がり、参加が段々厳しい状況になりつつある。

市総合運動公園

市長／改善に取り組んでいる

萩原 鹿見島市中山のふ

れあいスポーツランドに、夜間照明・シャワー施設の整った公園がある。
市長 総合運動公園を市民が仕事を終えてから、安心安全な場所で健康管理に励めるような施設に改善できないか。
市長 総合運動公園の改善は、不足している駐車場の増設、こども広場の移設、陸上競技場の天然芝の張替えなど年次的に整備する計画であり、現在、その設計に取り組んでいる。

その他の質問

○始良ニユータウン、サボラウンドパーク始良と市内の鳥獣被害対

食品ロス削減

フードドライブ運動の普及

市長／情報を収集し支援



竹下 日出志

竹下 食べられる状態なのに捨てられる「食品ロス」が見受けられる。

家庭で余っている食品を募り、食料を必要としている方々に分けてあげるフードドライブ運動を普及する考えはないか。
市長 この運動は、本市の生活学校等で取り組まれているが、供給先の確保に苦労している。
各市民団体等の情報を収集し、今後どのように支援できるか研究する。

予防接種の対象者

市長／予防接種法に基づく

竹下 B型肝炎ウイルスは、乳幼児期に感染すると持続感染状態に陥りやすく、慢性肝炎や肝がんになる恐れがある。

B型肝炎ワクチンの定期予防接種対象者に、本年4月以前に生まれた1歳児にも助成できないか。
市長 本市でのB型肝炎ワクチンの接種対象者は特に経過措置を設けず、予防接種法に基づき本年4月以降に生まれた子どもを対象に実施する。

その他の質問
○国土強靱化の取組み
○高齢者が暮らしやすい環境づくり



▲もったいない！捨てず・残さず・使い切る！

北山地区

活性化の支援策

市長／手当をしていきたい



新福 愛子

新福 本年7月から9月末に、県民の森・伝承館・スターランドAIRA・野外研修センター・草文

の5施設が連携してスタンプラリーが実施された。「れんげの里プロジェクト」やコミュニティ協議会も動き出した北山地区の活性化を、今後どう支援していくか。

市長 「北山よかどこ探し実行委員会」の初めての取組みであった。高齢化率は高いが、リ

▲動き出した北山（イオンタウンでPR）



ーダーもいらっしやるので行政として積極的に関わり、手当をしていきたい。

新福 来年創立50周年を迎える北山小の存続を、どう支援するか。

教育長 危機的状況であり、児童確保は必須だが児童増に努める。

AEDの屋外設置 市長／検討していく

新福 救急車到着までの所要時間が長い地域での対策と、公共施設や小中学校にあるAEDをいつでも使用できるように屋外設置を検討できないか。

市長 対策として全消防団員が救命講習を受講しており、今年度中に全分団にAEDを設置する。

その他の質問
○早期発見・早期治療で乳がんをなくす取り組みを

保育施設の増室・新設

市長／整備が必要

病児・病後児



堀 広子

堀 病児保育の利用者が増え、時期によっては利用できない時がある。

また、感染症の児童がいるため保護者から、病児と病後児の部屋を分けてほしいとの声がある。

病児保育の増室と病後児保育の新設が必要ではないか。



▲すこやかに、はつらつと

市長 様々な感染症への対応など、病児だけでなく、回復期の病後児の保育施設も整備する必要がある。

堀 体調不良となった子どもを送迎し、病院の専用施設で一時的に保育する送迎サービスを実施できないか。

市長 市においても送迎サービスについて検討を重ねている。

企業主導型保育の基準 市長／認可保育所と同様

堀 認可外施設であり、事故等があった時の責任、保育士の配置や施設基準はどうなるか。

市長 事故等の責任は、保育園の設置者・経営者が負い、認可保育所と同じ基準となる。

その他の質問
○改定介護保険

LGBT

(性的少数者)

支援事業の取り組み

市長／正しい情報発信を検討



渡邊 理慧

渡邊 大阪市淀川区ではLGBT支援事業として意見交換会や電話相談、職員向けハンドブックの

作成など行っているがどのように評価するか。本市でも取り入れてはどうか。
市長 先進的であり、LGBT当事者や、周囲の方々へ支援する体制づくりの必要性も認識している。
多様な方がいきいきと暮らせるまちづくりを進



▲大阪市淀川区の啓発ポスター

めるためには、正しい知識と理解が必要であることから、正しい情報の発信を検討していく。

原発に対する市長の見解 市長／知事の動向を注視

渡邊 原発停止を求める県知事への見解と、原発に対する市長の考え方を問う。
知事とともに九州電力に原発停止を求めるべきではないか。

市長 川内原発は再稼働後、初めて定期検査と県知事の要請による特別点検が実施されており、今後の知事の原子力政策の動向を注視していきたい。

九州電力においては安全協定、防災協定に基づき、住民の安全確保を最優先とした稼働運転に努めていただきたい。

その他の質問 ○まち・ひと・しごと総合戦略

湯元 始良市の農業の将来の画整備は、ほぼ終えている。始良市の農業の将来の指針を示せ。
市長 区画整理は95%を終え、今後は、畑作経営にも取り組める水田整備、高性能大型機械の導入可能な大区画化・水田の汎



湯元 秀誠

農業構造改善

将来の指針

市長／農地の汎用化を目指す



▲素焼き土管に変更されて施工される暗渠排水事業 (蒲生町下久徳地区)

用化を目指していく。
湯元 今の暗渠対策の塩ビの有孔管は機能していない。
昔の地元で焼かれた素焼きの土管(陶管)は今日でも有効な働きがある。湿田対策に伴った素焼き土管の製造を新規産業として考えないか。

業務委託の依存性 市長／可能な限り職員で

湯元 職員の能力で可能な案件まで外部委託される。
担当部署内で有資格者の対応など、どのような議論がされているか。

市長 職員数を減少させながら、民間能力の導入は一つの手段である。
予算編成時に、委託で得られる効果等は協議確認し、今後も可能な限り職員で対応していく。

市長 赤錆の付着しにくい素焼き土管が近年見直されている。
地元製造で企業が成り立つか、優れた商品、安定した生産が出来るかなど新規産業としては厳しい。

指摘事項の説明を求める

市長／過去の通達を把握していなかった

会計検査院



小山田 邦弘

小山田 会計検査院が、不当とした国民健康保険の特別調整交付金約2億7400万円の件と、会計検査院が国の交付金を過大受給したとする給食室別棟建設に対する指摘について、行政と議会、さらには市民との信頼関係を再構築するために今



▲会計検査院の指摘報道は市民の注目の的

一度説明を求める。市長 国民健康保険の指摘については、過去の通達を把握していなかったのが原因である。

今後、このような事態が起きないように、すべての事務事業を再点検するよう指示した。

職員一丸となってチェック体制の強化を図っていく。

教育長 給食室別棟建設に関する文部科学省の交付金要綱には、経費算定の具体的かつ明確な規定がなかった。

このことは会計検査院が国に対して指摘している。

また、本市としては県の指導の下、交付申請しており、当時は誤った算定との認識はなかった。

公園

加治木地区の整備の検討

市長／各公園を有効活用を



神村 次郎

神村 加治木東部地区の札立・萩原・港町地域および西部地区の岩原地域に幼児や高齢者等が集える公園整備を検討できないか。

市長 公園空白地帯に対して地域から要望のあることは認識している。新規整備にはまとまった土地と財源の確保が必要となるので、現状では周辺部や、点在する小規模の各公園を有効活用していただきたいと考えている。

方言教育

教育長／地域の文化として残す

神村 地域の文化として方言教育を学校の総合授業で取り組むことはできないか。

教育長 本市でも学校によっては「総合的な学習の時間」で鹿児島島の方言について、学習する活動



▲楽しそうな親子3人（たいこ公園）

を行っている。

方言はそこに住む人々の気持ちや、感覚をぴつたりと言葉で表すことができることから、今後方言を地域の文化として後世に残していきたいと考えている。

その他の質問

○高齢者・障がい者にやさしいまちづくり

計画づくりと分析結果

公共施設
再配置

市長/市民とともに検討



峯下 洋

峯下 2015年の、「始良市公共施設再配置検討委員会」の方向性を示す計画づくりと分析結果を問う。
市長 本市の公共施設のあるべき姿について、再配置基本計画と総合管理計画の素案を平行して作成を進めており、今後、



▲指定管理を受けた松原地区公民館

パブリックコメントを経て施設の統廃合や再編をし、機能の充実した「縮充」された施設にしていくなかを、市民とともに検討していく。

支援教室
教育長/学校での生活が充実

峯下 「子育てするならばいらい」をうたい文句にしているが、現在の支援教室通級について問う。
教育長 通級指導教室は、言語障害、自閉症・情緒障害、聴覚障害、学習障

害、注意欠陥多動性障害の各教室があり、柘城小に9人、始良小に53人の児童が市内の各小学校から通室している。
各教室では、専門の職員が個別に丁寧な指導を行うことで、子どもたちはより良く改善し、それぞれの学校での生活が充実してきているところである。
その他の質問
○空き家対策

ごみステーション

清潔な町づくり

市長/衛生協会で補助



谷口 義文

谷口 ごみステーションでカラス・猫などにより袋を破られ、生ごみが道路に散乱している様子は、見た目や環境にも悪く「県内一暮らしやすいまち」としてのイメージや評価も下がる。

ネット張り、箱形等を全てに設置して清潔な町づくりを望むがどう考えるか。

市長 木製の箱形ステーションの設置に必要な木材や金網等の原材料は、無償で市が支給している。ネットや金属製の箱形ステーションは、購入費用の一部を市衛生協会を通じて補助している。

10戸以上の集合住宅については、独自のステーションを新設するよう指導している。
現在、市内のごみステーションは約1800か所あり、約7割がネット付きか金属製または木製となっている。

残りの全てのステーションにはネットをつけるか箱形にする場合、購入費用の一部補助を継続する。

その他の質問
○自治会加入
○高齢者の運転



▲散乱した生ごみ



地方自治は、民主主義の学校

= 地方議会こそ、民主主義の学校になりうるのではないか =

市民に開かれた議会を目指して本市議会は議会改革を推進しています。今般、その一環として地方自治を専門に研究されている鹿児島大学の平井一臣教授をお招きし、「地方議会の役割と課題」と題して勉強会を開催しました。

地方議会を取り巻く環境
今、地方そのものが①平成の大合併による周辺地域の衰退、特例措置期限切れ②少子高齢化と慢性的財政危機③地方消滅論と地方創生論などさまざまなプレッシャーの中にある。

そんな状況下で地方議会には政務活動費の不正使用などから住民の不信感があり、研究者の中にも議会不要論があるのも事実である。

個人的には議会に全く課題がないとは思っていない。きちんと課題を解決した上で、本来発揮すべき議会の機能を果たしていくべきだと考えている。ただ議会不要論がある事実は認識しておくべきだ。



議会の原理と問題点
首長と議会は異なる代表原理からなる。首長は住民の多様な意思や利害を、リーダーシップで政策に集約。議会は多様な意思や利害を、熟議の中で合意形成し、政策に反映させる。

いづれも直接選挙で選ばれるが、今、投票率が低下し、代表への信頼性が揺らいできている。

議会は請願や陳情で住民の意思を吸収して政策立案に反映していくものだが、政策立案への住民参加が進むことで議会不要論が膨らんできている。

議会が見えない
経済が右肩上がりの時代には住民の利害を調整しながら中央からの利益配分をすることで議員は評価されてきたが、もうそんな時代ではない。

いくつかの調査結果からみても約6割の人が地方議会に満足していない。その理由は議会活動が住民に伝わらない、審議内容が不透明というものが多く、つまり、議会が見えないから信頼できないとしているわけだ。

そして、議会と議員の能力に対する疑問が生じ、議会の必要性が問われ、議会経費への批判が大きくなってきているといえる。

議会の見える化
議会改革白書から読み解く始良市議会の印象は、比較的議会改革が進んでいる方といえる。

具体的には、議会改革特別委員会の設置、議会基本条例制定、一問一答制の導入、議会報告会の実施などである。

ただし、これらは今や議会改革の標準装備であり、今後どのようなようにしていくのが問われてくる。

例えば、先進的な議会では、議案を上程前にHPで公開したり、すべての会議を原則公開したりしているところもある。

また、常任・特別委員会以外での政策討論会、議員提案条例研究会等の設置などは今後の課題と思われる。

始良市は、SNSの活用や議会モニター制度の導入などでは遅れがある。総じて言えば、①議会の公開に関する取り組み②ネットを活用した情報公開の取り組み③議会と市民とのパイプを太くする取り組みが弱いといえる。



議会批判を超えて
議会批判の中に定数や報酬・政務活動費削減など財政的問題を問うものがあるが、実は財政削減効果はそれほどでもない。

議会は多様な住民意思の反映と合意形成のための熟議が必要で、それなりの議員数も求められる。今後の議員には、政策立案と説明責任、合意形成を進める能力などプロフェッショナルな活動が求められる、それに見合う報酬・政務活動費が必要だ。

市議会が一番身近に民主主義を経験できる民主主義の学校である。議会本来の意義と役割を認識し、改革を経てチームとして議会が成長して欲しい。

語る会

予算審査や市政に活用



▲柁城校区・下新道公民館（参加者43人）



▲加治木駅にエレベーター設置を要望

始良市議会では、開かれた議会をめざして、市民の皆さまに議会の活動状況をお知らせし、皆さま方からのご意見を市政に反映させるため、「議会と語る会」を実施しています。

第8回目の「議会と語る会」は、11月5日（土）昼に始良高齢者福祉センター、6日（日）昼に迫地区いきいき交流センター、夜に下新道公民館で実施し、今回は76人（前回70人）の市民の皆さまの参加がありました。

各委員会で作成した資料について説明の後、市政全般にわたって意見交換がなされ、参加者から生活に身近な話題や市政へのご意見やご要望をいただきました。

主な質問や意見

（始良校区）

始良高齢者福祉センター

質問 始良地区の郷土芸能の掘り起こし、郷土愛を育む行事育成を検討できないか。

回答 伝統行事は各地にあり今後も受け継いで行くべきです。帖佐十九日馬踊りも復活し浜下りもあり、議会も協力していきます。

始良校区は流入人口が多く、校区コミュニティが取組み始めています。

質問 財政は大変な時だが政務活動費はしっかりとつけ、おおいに勉強してほしい。そのことが市民の幸せにつながるのでは。
回答 現在、政務活動費に関して調査しています。県内ほとんどの市議会には、政務活動費があります。この時期だからこそ厳しい目でルール作りが出来ると思います。
調査・検討後、市民の皆様にご報告します。

質問 山野踏切の請願採択後全く動きが無い。
回答 山野踏切は、JRとの交渉に入っています。相手があることで余計に時間がかかります。現在調整中とのことでした。

（蒲生校区・迫地区）
いきいき交流センター

質問 くすの湯の湯量が少なく、ぬるく、故障が多い。泉源掘削から完成まで、いつになるか。
回答 県から泉源の掘削許可が下り、入札で業者も決定し、28年度末の泉源確保を目的に契約しました。

質問 昔は、川で魚が捕れた。川の水量が減っている。水源確保が必要ではないか。
回答 川に入って魚を捕ったりしながら、自然を感じることで自然環境の保護につながります。また、皆さんが山に行かなくなると、共存しなくなっています。これから行政と一緒に対策を講じます。



▲始良校区・始良高齢者福祉センター（参加者16人）

第8回

議会と

皆さんのご意見は、予

質問 車いすの必要な高齢者や障がい者が、JRを安心・安全に利用できるよう、加治木駅にエレベーターの設置を働きかけて欲しい。

回答 JRのバリアフリー化の条件として、1日3000人以上の乗降客と、市からJRへの要請があります。現在、本市はJR・県と協議中です。

**（柘城校区）
下新道公民館**



▲蒲生校区・迫地区いきいき交流センター（参加者17人）

質問 倒壊寸前の空き家に対する迅速な対応をできないか。

回答 今年度、空き家等対策計画の策定や空き家の実態調査を行い、所有者等の確認作業を進めています。

質問 本市では、政務活動費はないと、ホームページに出ていて。他の市町はどうなっているか。

回答 本市は、財政状況が厳しい状況です。県内

アンケートから

の政務活動費は、霧島市月3万円、薩摩川内市1万5千円、鹿屋市2万円、日置市1万3千円となっています。

○参加者が少ない。市民に対する周知の方法を検討する必要があるのではないではないか。

○自治会の要望を活かせる議員活動を望む。

○議員と有権者との結びつきを深め、声をかけて要請することも必要ではないか。

○市営プール設置は、若い人たちの流出の防止や市民の健康増進につながるが医療費が抑えられる。

○市営プールの設置は、議員・議会としての考えを明確に示し、議会活動を通じて今後どのように取り組んでいくか語ってもらいたい。

○気になっていた政務活動費の事が良くわかった。

○意見交換の時間が足りない、始良市の夢を語る会をもってほしい。

○議会の動きが少し理解できた。議員報酬改定も説明するべきである。

○始良市の政務活動費がないことを初めて聞いた。

紙面に掲載した質問・提言は、一部を抜粋したものです。地域の課題を含め、多くの意見をいただきましょう。

市民の皆さんのご意見は、執行部にしっかりとつなぎ、予算審査や市政運営に活用していきます。

委員会レポート

所管事務調査

総務常任委員会

福島県 田村市・二本松市

平成28年10月26日、福島県田村市へ「新庁舎建設」、27日に二本松市にて「大震災及び原発事故後の復興について」調査しました。

新庁舎建設

田村市は平成17年、5町村が特例法の下で合併した人口約4万人の市である。



▲免震構造で建設された田村市役所



▲開放的で吹き抜け構造の内部

新庁舎に向けて市は、まず建設予定地を決めることに着手、数か所の中から一か所に決定し、平成22年1月22日、臨時議会に提案して可決した。翌年より、途中大震災の被害により一時中断したが、計画を続行した。完成までのスケジュールは、まず庁舎内の検討委員会は議会への説明を含め四回開催、次に外部

委員を含めた本庁舎建設検討委員会を立ち上げ、パブリックコメント等も盛り込んだ基本構想を提示、公募により選考をした。

14社の中から5社を選定、プレゼンテーションやヒヤリングを公開で行い、設計業者を決定した。

その後、有識者を交えた本庁舎建設検討委員会を設置し、設計施工、土地の取得、建物完成まで見守ることになった。

建設決定より、約4年が経過して新庁舎は完成した。

田村市の新庁舎建設で特筆すべきことは、免震構造を視野に入れ、採用したことである。

研修調査を終えて

本市でも、新庁舎建設が検討されている中、なるべく早く外部委員を含めた検討委員会を設置し、公開でのプレゼンテーシ

ョンやヒヤリングを行うべきである。

大地震及び原発事故後の復旧

二本松市の地震と原発の被害は大きく、被害状況は、住家、非住家、公共施設等合計約7000件、その他多くのインフラ関係の被害があった。

市の避難状況と対応は、避難民については市内1000名（一時避難）、市外から4300名、仮設住宅予定1000戸、その他復興公営住宅500戸など、二本松市は「二本松市復興計画」を

被災地の状況と対応をしっかりと検証・参考にしながら本市の今後の防災計画・避難計画を検討・構築するべきである。

策定、復興にあたった。原発事故対策については、除染、その他廃棄物置場、避難計画などしっかり災害に備えるべきである。

研修調査を終えて

本市は、川内原発からの距離、影響が予想される風（本市では北西の風）など、二本松市と酷似した部分が多く、参考になった。



▲研修の様子

先進地に学ぶ

文教厚生常任委員会

鳥根県 邑南町・浜田市

おおなん

平成28年11月1日、鳥根県邑南町で「子育て支援と定住促進」、2日に浜田市で「青少年サポートセンター」について調査しました。

「子育て村」をスローガンに、各種事業を展開している。

子育て支援

子育て支援と定住促進

邑南町は、人口減少に歯止めをかけるため、子どもを産み育てやすいまちをめざし、「日本一の

○保育料の第2子以降の無料化を早くから実施
○二か所の病児保育室で看護師と保育士が常駐し看護にあたる。

○町立病院には産婦人科や小児科があり、24時間体制で安心の医療体制が整っている。

○保育所は完全給食であり、町内産の米を使用。米代は全額助成している。

定住促進

定住促進課に定住支援コーディネーターを配置し、空き家の活用や畑の提供、就労相談など移住者ケアを徹底している。その他、3世代2世代同居、近居世帯にも助成制度を確立している。

子どもの誕生を町をあげて喜ぶような心のもった取組みの結果、合計特殊出生率が全国平均1・4を上回り現在2・45という嬉しい成果が表れている。

研修調査を終えて

始良市は、人口増の実態に甘んじることなく、これまでの施策を検証し新たな視点に立った思いきった施策を打ち出すべきではないか。

青少年サポートセンター

浜田市は、次世代を担う子どもや青少年の自立支援、健全育成、ひきこもりやニート、不登校等の困難を抱える子どもや若者を総合的サポートするため、青少年サポートセンターを、旧警察署の館を一部借り、業務を行っていた。

注目する点は概ね40歳迄の青少年に対応しているところだ。相談は無料で、利用者は自分の好きな事が自由にできる環境が整っており、社会復帰につながっている。

研修調査を終えて

本市は、義務教育期間を終えた青少年や家族へのサポートが充実していない。早急に浜田市のような取組みを検討すべきである。



▲熱心な研修風景



▲くつろげる居場所

産業建設常任委員会

岐阜県 海津市・郡上市

平成28年10月12日は海津市へ「6次産業化」、13日は郡上市にて「有害鳥獣対策などについて」調査しました。

6次産業化の実績

海津市で6次産業化の実績のある、有限会社福江営農を調査した。同社は、水稲、小麦、大豆の生産・販売と、精

米加工から出る^{もみがら}籾殻を利用し、バイオマス燃料の製造・販売や、おにぎり等の販売店経営で、6次産業化を行っている。従業員は14名、売上高は2007年が1億5899万円、2012年が3億3998万円と5年で倍増。

J Aと連携し担い手不足集落の農地を請け負い、遊休農地0%の取組で農地確保に努めたが、今後



▲籾殻の圧縮機械



▲籾殻炭の製品

は今以上の確保は困難と判断。

将来を見据え農業経営基盤の強化のため、6次産業化に着手している。

研修調査を終えて

始良市でも今以上に、6次産業化への推進を図るべきだ。

市内でも精米加工後の籾殻が大量に発生するので、籾殻炭の生産を検討する価値はある。

企業化した農業法人では、営業力向上や企画力は重要なポイントである。

地域産業の活性化と有害鳥獣対策

明宝地区は平成16年に郡上市と合併している。今から30年前、J Aハム工場が隣町へ移転を決定した。

しかし、ハム工場は人口1800人の村民が働く場として村の宝であったため、当時の村長が施設を買収し、第三セクターとして運営をはじめた。

明宝ハムを特産品に育てた事は、この地域の誇りであり、地域活性化への原動力となった。

明宝では獣肉利活用を目指す明宝ジビエ研究会が設立されている。旧消防団詰所跡を再利用して、獣肉解体作業場に、地域内で捕獲から処理まで一体となった、新たなモデルづくりを推進中である。



▲鳥獣肉の吊り機具

研修調査を終えて

山岳地の明宝は限られた資源に集中し、そこで勝負する力が全体的にある。人口減少のなかで一次産業を守りながら、地域づくりを取組む姿勢に学ぶ。

始良市でも鳥獣肉解体場設置の検討を模索すべきである。

●広報委員会／研修視察日程（1班） 平成29年1月23日(月)~25日(水)

兵庫県宝塚市議会：議会広報全般について
兵庫県丹波市議会：議会広報全般について

●議会運営委員会／研修視察日程 平成29年1月30日(月)~2月1日(水)

埼玉県飯能市議会：タブレット端末の導入について
千葉県市原市議会：災害時の議会対応について



インタビュー

始良で
「働く人」

ベテラン保育士 に聞く

今回は昨年4月、始良小学校近くの西餅田に新築移転した「おひさま保育園」で働く和田さんにインタビューしました。
和田さんは、同園で4・5歳児を担当される正職のベテラン保育士です。



和田 雅代さん
夫・子ども2人(45才)

この仕事を希望された理由は

もともと子どもたちと接することが大好きで、保育士の資格を取りました。

保育士として仕事を始めて20年くらいになりました。

仕事を通じて、日々子どもたちの成長を肌で感じられることがなにより楽しいです。

この仕事で一番嬉しいと感じられるときは

年間通して様々な行事やイベントがありますが、特に運動会や発表会など、一つの行事をみんなでやり遂げたとき、子どもたちが「先生」と満面の笑みで抱きついてくるとき

子どもたちの成長と 満面の笑みが楽しみ



保つことに最も気を遣います。

まず自分自身が元気で健康でなければならぬことは言うまでもありません。

園児も一人ひとりの個性があり、その日の環境や家庭での過ごし方等で、よくその様子が変わります。

連絡帳等で保護者と確認し合いながら、体調の変化がないかどうか等、常に観察しています。

園児の安全と健康管理に最も気を使います。

この仕事で一番苦労されることは

保育園は、保護者に代わって日常生活を援助する施設ですから、健康を

あなたにとって、働く目的、生きがいは

目的は皆さん一緒だと思いますが、仕事を通じて、子どもの内に秘めた能力をどれだけ引き出させられるか。それが見えたり、保育士としてのやりがいを感じます。
又、夫や家族の理解があつて働けていると思います。

(聞き手 和田)



おひさま保育園(定員60名)は、社会福祉法人(太陽の風 理事長 小牧伸一郎)が運営する認可保育所への補助(次世代育成支援対策施設整備事業1億1835万円)を受け、昨年4月この場所(並木)に移転しました。
子ども一人ひとりの個性を伸ばし、心身の発達を助け、人格形成の基礎を形成することも、自主性を育てることを保育目標に掲げています。



議会→市長

【会計検査院指摘で申し入れ】

平成28年12月19日、議長名で笹山市長に対し会計検査院指摘に対する議会への対応について申し入れを行いました。

始良市は平成22年から24年の3か年にわたり総額2億7000万円余り、精神医療費の保険者負担額を過大に算定し、特別調整交付金の交付を受けていたとの指摘を受け、平成26年から3か年にわたり分割返納する予定です。

会計検査院の指摘事項について議会への説明は、かなりの月日が経過し、報道解禁情報が入ってからでした。

指摘の内容・対応等については、一般質問等を通じて明らかになったが、この間、予算並びに決算の審査段階で説明可能であったと考えます。

議会は執行機関に対し監視機能を担っているにもかかわらず、今回の一連の事態は、その役割を果たせず、市民の議会への信頼が損なわれる結果となり、誠に遺憾です。

市長以下一丸となって再発防止策を講じ、職務に精励されるとともに、万一このような問題が発生した場合には速やかに議会へ報告されるよう強く申し入れました。

お詫び

前回の議会だよりNo.25号14ページの神村次郎議員の一般質問の環境問題の答弁者が「教育長」となっていますが「市長」の誤りでした。

訂正してお詫び申し上げます。



傍聴席から

議員質問に対し通り一遍の行政の回答が目立つ。

議員もコミュニティ問題にどのように関心をもっているのか。

地域自治会員の声を聞いて質問して欲しい。

地域によっては自治会の壊滅の危機がある所も認識して欲しい。
(80代男性)

第3回、第4回と傍聴しましたが、1時間という短い時間ですが、質問者、答弁者が真摯に向き合って討議されています。
(60代男性)

初めての傍聴をしましたが、議会の在り方など勉強させていただきました。毎週体育館使用していますので、ぜひ良い方向へ行くことを祈っています。
(70代女性)

とても民主的で運営もスムーズだと感じました。私語もヤジもなく、見本のような議会だと思います。
(50代女性)

傍聴席へどうぞ 車いす席もあります

平成29年第1回定例議会は、
2月中旬開催予定

編集後記

あけましておめでとう
ございます。
今年も西暦です。西の
つく年は商売繁盛に繋が
ると考えられています。
また、酉の由来に「果実
が極限まで熟した状態」
というものが、「物事が
頂点まで極まった状態」
が、酉年と言われているま
す。市議会広報も担当者
全員で、大いに羽ばたけ
るよう頑張りますので、
ご期待ください。
本年もよろしくお願
い申し上げます。

広報委員 東馬場 弘

編集・発行責任者

議長 湯之原 一郎

広報広聴特別委員会

(広報班)

班長 峯下 洋
副班長 渡邊 理
委員 犬伏 浩幸
和川 逸郎
湯川 愛子
新福 次郎
神村 和美
森川 和弘
東馬場 志
竹下 日出
山下 邦弘
小山田 忠
堂森 夫